



ありがとう

ご利用の案内 Vol.1.2



2024年9月21日改定

## 当店ご利用の案内 Vol. 1

### 目次

少しながいお店の紹介	・・・	1
サービスについて	・・・	3
店内図	・・・	5
かんたんな説明	・・・	7
料金：本や merkki	・・・	9
料金：学びや merkki	・・・	11
利用方法	・・・	12
気になる、いろいろ	・・・	14
少し変わったお願い	・・・	17

このお店にはいくつも不便なところがあります。

高い本棚やイスの移動。ぼこぼこした床。  
複雑そうな料金システム。

だから助けを呼んでください。  
あなたの目の前の人を頼ってください。  
そして頼られてください。

そうやっていると、  
何かの兆しがあるような気がするのです。  
「尊敬と妥協と少しのやさしさ」で支えられているこの空間。

ようこそ、本や学びや merkki へ

<少しながいお店の紹介>

当店は本屋ですが、本数は決して多くありません。  
当店は塾ですが、効率的な学びは推奨していません。

本屋でありながら、長くいられる空間を目指しています。  
塾でありながら、回り道を楽しめる時間を目指しています。

そんな、中途半端であり、少し変わったお店にお越しくださり、ほんとうにありがとうございます。そして、こんな文章までをも読んでくださるなんて、なんと心にゆとりのある、優しいお方でしょうか。

店名の「merkki」（メルッキ）とは、フィンランド語で「しるし」や「兆し」を意味します。「kirjan-merkki」（キーアルンメルッキ）で「しおり」となります。ほんとのところ、後者の「kirjan-merkki」を店名にしたかったのですが、誰が読めるねん、というどこからともなく舞い降りてきた鶴の一声により、前者の「merkki」（メルッキ）となりました。

本や学びや、というのは前述したとおり、本屋でありながら塾でありながら、中途半端さも相まって「本や学びや〇〇や〇〇や…」といった並列の意味でもあります。

※ここで学びやと言っているのは、塾という表現をあまり好まず、学校でもないなあ、と考えた挙句、学ぶ場所＝学びや、という結論に至ったのであります。

さて。店名についてはそれくらいとして。次は場所の話はば。

気付かれた方はいらっしゃるでしょうか。  
ところどころにいる、彼らを。

中心には「S45・12・21」と刻まれた古びた木枠。  
雑貨の近くの緑の変なカタチをした机。  
今はもう役目を終えたエアコンや時計。ラジオデッキ。  
床はぼこぼこになってしまっており、  
窓枠もこれまでの年月を語るような佇まい。

昭和。もちろんスマートフォンや携帯電話もない時代から。  
木材の香りと、煙草。汗のにおい。  
真剣だからこそその怒号。笑い声。

ここは、木型工作所。

例えば船をつくる部品の。その部品を作るための“木型（きがた）”を作っていた場所。  
主な作業場は2階。作ったものを1階へ降ろし、納品先へ。  
確かに流れていた空気。活気。そして、記憶。

人も場所も。変わる。  
それはまるで、本の1ページを読んでいるかのよう。

一瞬の出来事であり、永遠を感じてしまうような時の流れ。  
しおりをはさみ、また新たな1ページを開いているだけ。

そんな風に、このお店はできました。

<サービスについて>

当店では、随所に、ご来店される“あなた”へ頼ってしまうようなシステムがそろっています。(決して店主が楽をしようとしているわけではありません…が、ひとりなので助けてもらえると嬉しいです)

少しの気遣いが“やさしい世界”を実現し、サービスを受動的に体感するのではなく、“能動的に参加”できることを目指しております。そのため当店では、

“尊敬と、妥協と、少しのやさしさ”

をご来店される方々にもお願いしています。

そんなすこし変わったお店のサービスは、おおまかに以下の通りです。

1階

本や merkki 9:00~16:00

- ・本屋として、新刊本、中古本が購入できる。
- ・ターナーとして、自分が本屋になれる。
- ・座席を利用して、本に囲まれた静かな場所で過ごせる。

学びや merkki 17:30~21:30

- ・個別対応での学びの時間がある。
- ・自習のスペースとして活用できる。

2階(準備中)

- ・ギャラリー等の貸し出しスペース
- ・アトリエ(D I Yや絵画など)

座席の利用について、少し補足させてください。

座席の利用には、料金(座席料)が発生します。これには私の経験談を少しお聞きください。

それは、あるカフェへ行った時のこと。

本を読もうと入った場所は、本はあれども、会話を楽しおみなさん。「…落ち着いて本が読めない。」もちろん、そういった場所は大事ですし、会話を楽しお方を責めるつもりはありません。そのときの私には合わなかっただけ、という意味です。さらにこんな話。

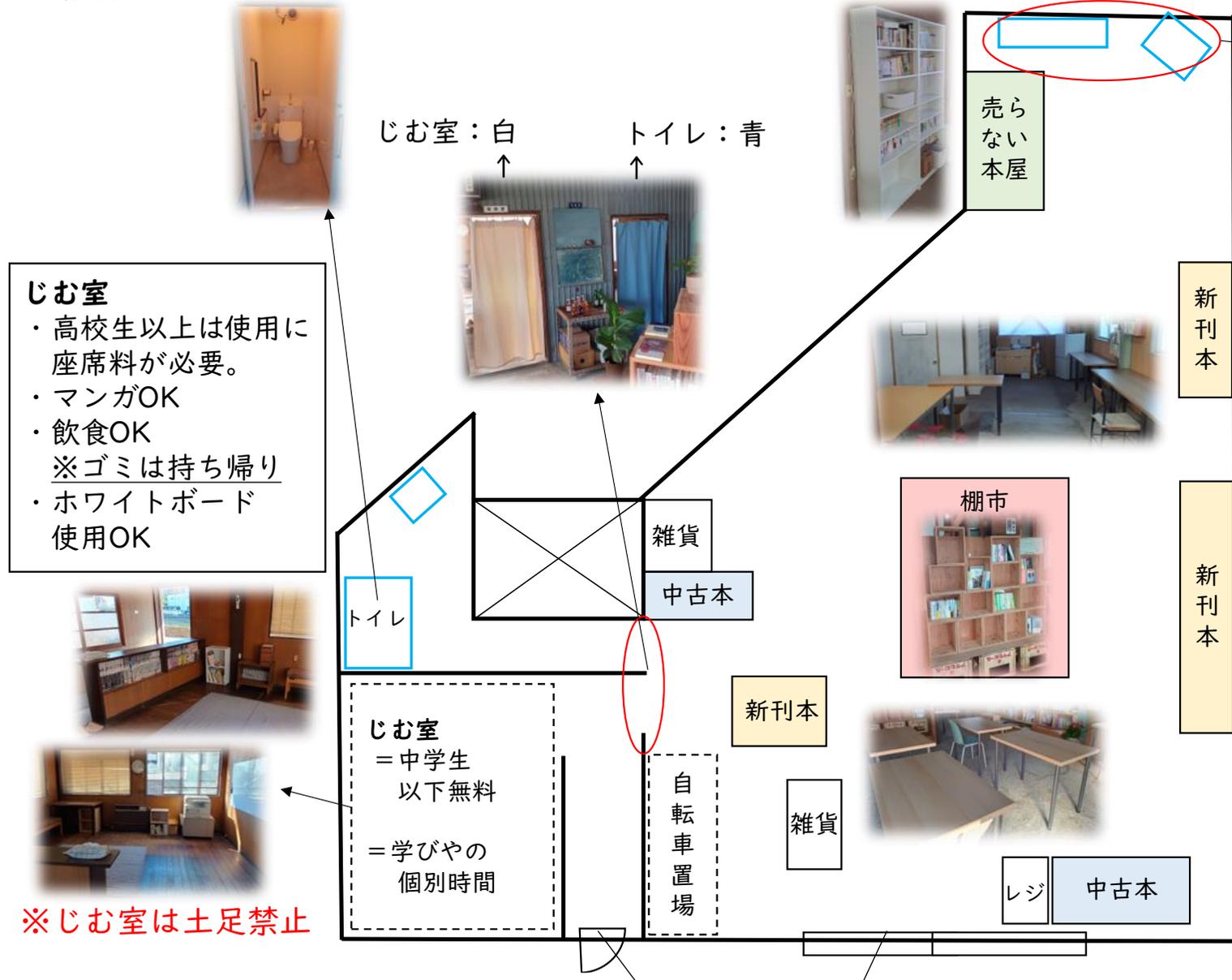
ある飲食店へ行って、食事を楽しんだあと。本を読もうと、本を出す。すると、すぐに店員さんがやって来て、「お下げいたしますね」の一言。私の目の前には、飲みかけのお冷だけ。「これは…帰るべき？」これも店員さんは仕事をただけですし、私の気が小さかったからという理由でしかありません。でも思ってしまったんです。「本が読みたい…」

学生時代から家では勉強できず、学校など他の場所で学習していた私。時折、一人になりたいと願い。落ち着いて本を読みたい。そんな想いから、場所をつかうことに価値(=料金)をつけることができれば、気兼ねなく過ごせないか?と考えたわけです。

こうして、座席料システムを取り入れることにしました。これは、東京の「fuzkue本の読める店」さんを参考にしています。また、事前に過ごしたい時間を申請(あくまでも目安)してもらい、本当の退席時間を記入してもらった後払いにすることで、その時の気分で時間を気にせず過ごしてもらえるようにしました。

長く過ごせば喉も乾く。だからフリードリンクや飲食物の持ち込み(にの強いものは不可)もできるようにしました。

<店内図>



**じむ室**

- ・高校生以上は使用に座席料が必要。
- ・マンガOK
- ・飲食OK
- ※ゴミは持ち帰り
- ・ホワイトボード使用OK



※じむ室は土足禁止

じむ室：白 ↑  
 トイレ：青 ↑

**流し台と冷蔵庫**

- ・座席を利用（座席料）の方は、使用できます。
- ・冷蔵庫の中にはフリードリンクと商品在庫もあるので、使用の場合は一度お声がけください。

※原則、飲食持込OK。

ただし、本ににおいがうつるような、強いにおいは、お避けください。

詳しくは店主に

**出入口**

ドアが開いていない場合（雨など）もドアを開けてお入りください。



<かんたんなサービスの説明>

本やmerrki		9:00~16:00
物品購入	新刊・中古本	閲覧は無料です ※新刊本とは定価販売の本を指す
	雑貨類	閲覧は無料です レターセットやステンレスマグなど
	飲食物	閲覧は無料です 瓶ドリンク, ティーバッグ, クッキーなど
座席料	机の利用	フリードリンク&売らない本屋も利用できる ※中学生以下でも料金が必要 ※利用時間に応じ料金変動
	じむ室利用	室内にあるマンガや絵本を読める ※中学生以下無料
棚市	ターナー利用	2つのプランから選び申し込むことで、棚を借りて好きな本を売れます
	本の購入	誰でもできます

学びやmerrki		17:30~21:30
個別時間	年齢問わず、60~70分を1コマとして1対1の時間 自習通い放題つきで1回ごとの料金が異なります	
自習ワーク	通い放題	営業日の17:30~21:30で通い放題
	お試し利用	時間に関係なく1回の利用料金



場所の記憶



本や merkki メルッキ

※税込価格

◎座席料

	1時間以内	2時間以内	3時間以内	5時間以内
通常	500円	800円	1000円	1500円
おまとめ割	400円	650円	800円	1200円
学割	300円	500円	800円	1200円
購入割	300円	600円	800円	1300円
学びや割	0円	500円	700円	1000円

〈各種割引の条件〉

- ・おまとめ割(チケット制)・・・前払い。8枚組。組み合わせ自由。  
例) 1時間×8枚=3200円, 1時間×4枚+2時間×4枚=4200円など
- ・学割・・・学生であること。※証明できればOK。
- ・購入割・・・書籍や雑貨など合わせて税込1500円以上の購入。
- ・学びや割・・・学びや merkki で月6000円以上の利用。

※座席利用特典のフリードリンク

ミネラルウォーター(軟水)、麦茶※ペットボトル  
コーヒースティック、ティーバッグ(紅茶、ルイボスティ)

◎書籍

- ・新刊本・・・定価販売
- ・中古本・・・100円～100円単位
- ・棚市・・・各ターナー(棚のオーナー)による値付け

◎棚市(ターナー利用) ※売上金は月初に受け取り可能

	料金	販売手数料	注意点
じっくりプラン (継続型)	月2000円	なし	月末支払い
つかのまプラン (短期型)	月500円	1冊毎100円	3カ月まで まとめて前払い

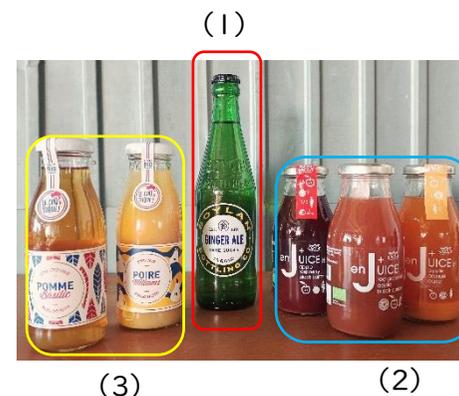
◎雑貨など

【雑貨】

- ・ポストカード・・・各250円・おやさいクレヨン・・・2200円
- ・メモ便箋・・・各600円・おこめのクレヨン・・・2700円
- ・レターセット・・・各800円・おはなのクレヨン・・・1300円
- ・ステンレスマグ・・・2500円・オリジナルスケッチブック・・・各1300円
- ・ステンレスマグ(色あり)・・・各3000円

【ドリンク】

- ・ジンジャーエール・・・450円(1)
- ・オーガニックジュース  
サクライタリア・・・各550円(2)
- ル・コック・トケ・・・各650円(3)



【防災用品】

- ・携帯トイレ・・・500円
- ・非常食(ごはん)・・・300円
- ・非常食(おしる)・・・500円

【お茶・お菓子類】

- ・仙霊茶ティーバッグ
- ・国産米粉クッキー(プレーン)・・・300円  
1包・・・各200円
- ・国産米粉サブレ(抹茶)・・・350円  
10包・・・各1200円
- ・SETOUCHI T&K HERB ハーブティ  
ティーバッグ7包・・・各1400円

## 学びや merkki メルツキ

※税込価格

### ◎個別時間

- ・60～70分を1回とする。
- ・学習内容は相談しながら変更が可能。  
※時間内でも変更や複数学習が可。
- ・入学金なし。
- ・学校の学習内容であれば、教材費なし。  
※尺八などを希望の場合は別途費用の可能性あり。
- ・条件(月6000円以上)を満たせば、本や merkki での特典あり。
- ・支払いは**後払い**。※今月分の回数分は翌月始めの週に。

	料金	注意点
個別時間のみ	3000円/回	月1回から
個別時間 +自習通い放題	4000円/回	月2回から

### 〈割引適用〉

- ・きょうだい一緒に割・・・1回につき500円の割引。  
例)月4回の場合、合計で2000円の割引が適用。

### ◎自習ワーク ※フリードリンクはつきません。

- ・学びや merkki の営業時間内なら、好きな時間に自習できる。
- ・店主じーもが空いている場合は、質問あり。
- ・自習者同士での学び合いもOK。(小声で)
- ・支払いは**前払い**。

	料金	注意点
お試し利用	600円/回	利用時間に関係なく 一律での支払い
通い放題	6000円/月	毎月分を前払い

### 〈各種サービスの利用方法〉

一本や merkki 9:00～16:00

### ◎座席やじむ室の利用

1. 利用ノートに「名前(あだ名OK)」「利用予定時間(10:00～13:00の  
ように)」を記入。
2. 利用したい椅子を選んで店主に伝える。  
※実際に座ってみて数種類の中からお選びください。  
※上から降ろすので少しお時間かかります。
2. 自分の好きな場所で、座席を利用する。  
※フリードリンクや売らない本屋、じむ室の利用  
※じむ室の利用は、中学生以下無料です。  
※本が読める場所を目指しているのご配慮を。  
※本を読まなくても全然OKです。
3. 利用ノートに「退席時間(帰る時の時間)」を記入し、精算。  
※利用予定時間と変わっていても全然OKです。

### ◎各種割引の利用

1. 学割や購入割、学びや割は精算前に店主にお申し付けください。
2. おまとめチケットは、事前に購入いただくか精算前にチケットを  
購入いただきます。  
※購入したチケットを精算時にお見せいただくことで料金の支払  
いは発生しません。  
※本人のみ、などの利用制限はありません。

### ◎棚市の利用 (ターナー申請)

1. Webで(もしくは店主に聞いて)利用規約を確認する。
2. 店頭で利用申込書を記入し、店主に渡す。  
※プランによっては前払い制です。
3. 本を用意し、棚を自分色に。

## —学びや merkki 9:00～16:00

◎個別時間の利用 ※成人でも利用できます。

1. 本人を加えての店主とのお話（立ち合い）。  
※2回に分けて、①保護者のみ②本人同席 でもOKです。
2. 短時間での体験  
※保護者の同席可。
3. 一度、ご帰宅。  
※店主がいない場で振り返り、どうするかお決めください。
4. 店頭でお申込書を書いていただきます。
5. 次回利用の予約。  
※すぐに決めなくても大丈夫です。

◎自習ワークの利用（月額プラン）

1. 店主にお申し付けください。
2. 清算後、チケットをお渡しします。  
※購入したチケットを精算時にお見せいただくことで料金の支払いが発生しません。

<気になる、いろいろ>

Q1 本を読む以外に座席を利用してはいけないの？

→そんなことはありません。本が読める場所を目指していますが、それは本が読めるほど落ち着いた場所のことを意味しています。そんな空間であれば、本を読むこと以外のことだってできるはず。あなたは何をしますか？

Q2 ということは、おしゃべり禁止？

→「おしゃべり＝周りを気にせずに盛り上がること」を指している場合、それは禁止とさせていただきます。ただ、裏を返せば、隣同士が聞こえる声で話をするのは構いません。だって、全く話さない静寂というのは、なんだか張り詰めていて怖いですから。

Q3 でも、子ども連れは厳しいよね？

→そんなことないですよ。もちろん、わざと大声を出してしまう場合は注意させていただきますが、そうでない場合（赤ちゃんの泣き声などの出してしまう声）は違います。だって、みんなそうだったんですよ？それなのに大人になるとそれに寛容でいられないなんて、なんだか悲しいじゃないですか。

Q4 仕事で利用してもいいの？

→条件付きなら大丈夫です。というのも、仕事だからといって、パソコンのキーボードをすごい音で鳴らしたり、Web会議・電話など。誰かの話す声はとくに、本を読んだりする場合には集中をそがれちゃうんです。

Q5 なんだか窮屈そうですね

→そう思う方はそうなのかもしれません。でも、だからこそ、「尊敬と妥協と少しのやさしさ」で支えられている空間なんだと思います。今、これを読んでくださっているあなたも含め、周りにいる方たちみなさんに、感謝です。

Q6 学びやって…結局なに？

→塾と学校を足してそこに水をいれて薄めたような味・・・でしょうか。（逆にわかりにくい。）いわゆるテストのための勉強以外にだって学びは溢れています。私ができる限りのことを、なるべく教科のような分類にこだわらず、やってみたい、という感じです。

Q7 学びや…やっぱりわかんない

→すみません。言葉にするのは難しいし、どれだけ言葉を選んでも届く場合とそうでない場合、全く違う意味で届いてしまう場合など、どうなるかはわかりません。それを補うのが会話であり、相手とやり取りをする、ことだと思っています。学びやもそうですが、本やや棚市でも、みなさんと顔の見える関係であり続けたいと思っています。

Q8 そういや棚市ってなに？

→そうですね。あまり説明できていませんでした。巷では「シェア型書店」として広まりつつあります。いわゆる、棚（区画）を貸し出し、そこをオーナーに使ってもらい小さい本屋さんを営んでもらう。フリーマーケットの本屋さんバージョンです。（実はフィンランドへ旅行に行ったとき週末は広場でよくマーケットをしていました。そこから、棚でのマーケット＝棚市、と名付けました。）

Q9 ぶっちゃけ棚市はもうかるの？

→もうか・・・らないことの方が多いい気がします。でも、そもそも本屋さんがあまり儲からないと言われて、その本屋さんが勧めるシェア型書店が儲からないなんて・・・なんかくやしいじゃないですか！（もちろんすべての人が儲からないわけではないと思います）なので、merkki では、3カ月間は月額500円という破格のチャレンジをしています。

Q10 話は戻るけど、学びやは誰でも利用できるの？

→はい、できますよ。料金も年齢によって変動するのではなく、一定です。（詳しくは9ページ）むしろ大歓迎ですので、一緒に何かしてみませんか？

Q11 あ、飲食物の持ち込みはできるんだっけ？

→できますよ。でも、本ににおいがうつる場合があるので、においの強いものはお断りさせていただいています。

Q12 ほかにもわからないこと思い付いたんだけど…？

→ぜひ、お声がけください。小声でお話をすることはできますし、じお室で少しお話しできます。これまで利用したことのある方に聞いてもらってもOKです。

<少し変わったお願い>

【ネガティブオーラの取り扱いについて】

・ずーん…。としたような重い気持ちなどは、少人数での空間や日常の何気ない動作から少々気持ちが和らいだり、つかの間の休息になる場合がございますので、よければ当店にお立ち寄りください。ご自身の気持ちに折り合いをつけるための時間をご提供できれば、幸いです。

・イライラやピリピリなどのお気持ちの持ち込みは一切お断りしています。それらの気持ちの周囲への波及効果が計り知れないためです。(単に周りや自分にとってもマイナスの影響を与えるので好ましくないということです。)

【当店の空気感について】

当店の空気感は、そこに集う一人一人の空気感とそれらの相互作用、そこにほんの少しの当店特有の空気感が合わさって出来上がっています。そのため、同じ時間に居合わせた方は他人ではなく、当店の空気を形作っている仲間の一人として意識していただければ幸いです。もちろん仲間だからといって必要以上に関わることもありません。ただ、少しの気遣いと敬意を相手にもっていただけるとこの場にいる全員が救われます。何より店主が一番救われます。(笑) ちなみに、この“やさしい世界”が少しでも広がるのが店主のひそかな野望でもあります。

ここまで、読んでくださり、もしくは読み飛ばしながらも、ここを読んでくださり、本当にありがとうございます。

実はこれ。プレオープン3日目に書いております。(これを書くほど時間に余裕があった・・・わけなんですけど。) その中で感じたのは、自分の選んだ本を見てくれること。その本を手にお会計をしに来てくれること。自分の話す言葉を一生けん命に聞いてくれること。すべてが嬉しく、いとおしくなるような時間でした。

このお店は、自分のためでもあり、みなさんへの一つの提案でもあります。少しでもやさしい世界と言えるように。世界はグラデーションであるということ。そんなことが少しでも伝わり、何か兆し(merkki)のようなものを感じてもらえれば、もうそれ以上言うことはありません。

また、“やさしい世界”というのは、単に親切という意味ではありません。口が悪くても、一見ひどいことを言っているようでも、愛がある行動はなんとなく感じるができます。ここでは、クスッと笑えるような「ほっこり感」を大事にできればと思います。そこには、障がいがあるとか、ないとか。高齢であるとか、若いとか。家庭に事情があるとか、ないとか。関係ないと思うんです。というか、そんなことを理由にすることを限りなく薄くしていきたいんです。ただ、想いは伝わらないよりは伝わる方がいい。そんなモットーのもと、この店を営んでいきたいと思っています。…まあそんなうまくいくわけもないと思うので、長い目で温かく見ていただけると助かります。(笑)

店主 じーも